



センターからのご挨拶

医学の発展のおかげで、以前は救えなかった子どもたちの命が救えるようになってきています。一方で、日常的に医療的ケアが必要な子どもたちが増えています。小児在宅医療はそうした医療的ケア児に必要なとされていますが、対応できる訪問看護ステーションやかかりつけ訪問診療医の数も少なく、また医療的ケア児を受け入れ可能な保育園がほとんどないなど十分な体制が整っていないのが現状です。

当センターは小児在宅医療が必要な子どもたちやその家族が熊本県のどこに住んでいても安心して生活でき、充実した医療・福祉・保育・教育等を受けられる環境を整備することを目的として、県の補助事業として熊本大学病院内に設置されました。

大学病院内にありますがスタッフは病院内にとどまらず、県内各地へ走り回り現場で問題点を把握し改善策を検討・提案・支援しながら子どもたちとその家族をサポートしていきます。



特任講師 小篠史郎



センターの3本柱

① 相談

小児在宅医療に関する一般向け、関係機関向けの相談窓口を設置しています。

行政・教育機関と連携して体制を整備し、医療と保育や教育の支援を行います。

② 支援

③ 育成

研修会や実技講習会を実施し小児在宅医療に関係するあらゆる職種の育成を行います。

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、相談支援専門員、保育士、ヘルパー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、教員、行政担当者等



熊本大学病院 小児在宅医療支援センター

〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1
熊本大学病院 外来診療棟4F

関係機関用電話

096-373-5653

FAX/096-373-5449

一般患者向け相談窓口専用電話

096-373-5448

(10:00~12:00 13:00~15:00)

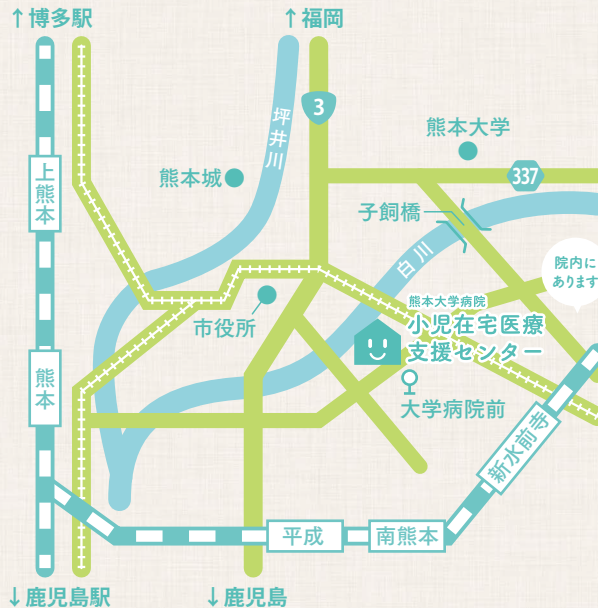
<https://kumamoto-children.net>
info@kumamoto-children.net

ゲームで支える子どもの笑顔



熊本大学病院

小児在宅医療 支援センター



相談窓口って どんなところ？

相談


子どもたちが安心して過ごす環境づくりをサポートしています。小児在宅の様々な疑問・質問にお答えいたします。

相談例


小学校看護師

人工呼吸器の子が入学してくるけど何に気をつけて看護すればいいのか自信がないな。

学級支援員(看護師)が人工呼吸器を取り扱うことができるように訪問支援していますよ。


小学校看護師

気管切開・胃瘻をしているけど地元の小学校に入学できるかな。

小学校・主治医と協力し安心して小学校生活を送れるように訪問支援していますよ。


医療的ケア児母

どこに電話しても断られる…幼稚園か保育園どちらでもいいので入園できないかな。

スタッフが行政とかけあって入園支援をしていますよ。


訪問診療医


医療的ケア児にカフアシストを導入したいけど使い方がよくわからないな。

カフアシストを導入できるように訪問支援していますよ。


行政・保健所

医療的ケア児の検討会議に専門的知識のある人に出席してほしい。

スタッフが出席し医療的ケアの施策が改善するよう支援していますよ。


学校・園

医療的ケア児が入園・入学してくるので学級支援員(看護師)に医療的ケアの指導してほしい。

学校・園に訪問し医療的ケア児の実技支援をしていますよ。

医療的ケア児の 保育・教育の支援

支援

行政の担当課とともに保育・教育体制を整備し、幼稚園保育園や学校へスタッフが訪問しケアをしながら支援をすすめてまいります。

スタッフ：医師・看護師・理学療法士・社会福祉士 計5名

医療的ケア児入園・教育の支援



医療的ケア児に関わる 人材の育成

育成

..... 育成対象

医療的ケア児に関わる勤務医、訪問診療医、訪問看護師、病院看護師、薬剤師、相談支援専門員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、小中学校等の教員・看護師、保育士、社会福祉士など

..... 育成方法

- 当センター主催の各種研修会・実技講習会の開催
- 行政、学校、園、福祉施設などの要望で講習会の開催
- 医学科学生、看護科・養護教諭過程にて実習・講義

..... 講習会に使用する備品

- ・人工呼吸療法シミュレーター
- ・気管切開カニューレ交換人形
- ・パルスオキシメーター
- ・カフアシスト
- ・カブノメーター(CO₂)モニタ
- ・インパルセーター
- ・吸引器
- ・胃ろうシミュレーター
- ・吸引シミュレーター
- ・バギー etc...



よくある質問

Q1 どういう流れで支援をお願いすればいいの？

まずは相談窓口にお電話いただき、現状をうかがいます。主治医、支援先、ご家族どなたからの依頼でも構いません。全3者の合意を得て調整をし、訪問支援に入る時期を決めていきます。



Q2 大学病院にかかっていなくても良いですか？

大丈夫です。かかっていらっしゃる主治医の先生と小児在宅医療支援センターのスタッフが連携をはかりすすめてまいります。



Q3 熊本市外でも対応できますか？

天草・阿蘇・人吉・荒尾・八代・水俣・玉名・山鹿・菊池・宇土など県内どこでも訪問支援いたします。

